

# しるばータイムス @しまね かわら版

Vol. 5  
2020年1月  
発行

公益社団法人島根県シルバー人材センター連合会  
TEL.0852-28-1171 FAX.0852-28-1173  
〒690-0887松江市殿町8番地3 タウンプラザしまね2階



JALしまね雲南地区本部 農産加工課 課長の福田忠さん

「かつては自分の田畑の仕事をしていました。近年はその人員確保が課題であると農産加工課の福田課長はいます。しかし餅づくりの繁忙期が年末に集中するため、近年はその人員確保が課題であると農産加工課の福田課長はいます。りから人気商品となっています。しかし餅づくりの繁忙期が年末に集中するため、近年はその人員確保が課題であると農産加工課の福田課長はいます。」

島根県の農産加工品は優れた素材の持ち味をいかした良質な加工と美味しさから高い人気があります。その生産現場では、素材の収穫時期や需要時期などから仕事量の季節的な片寄りがあり、人員配置などが課題となっています。そこにシルバー派遣事業を活用して円滑な生産体制を持つ事業所があります。

## 季節仕事にも シルバー派遣事業で対応



の「就業現場おじやまします！」

終えた農家の人が、正月前の仕事として餅づくりに来ていただいていたが、そうした皆さんも高齢になったり、働けなくなったりで、10年くらい前から人手の確保が難しくなりました。平常月は少人数でまかなえる加工品づくりも、年末の3ヶ月間で120トンという大量を製造する餅づくりに関してはどうしても人手が必要となります。そこで安定的な人材確保のため5年ほど前からシルバー派遣事業を利用するようになったといえます。

「シルバー会員の方には餅づくりの補助のほか、きな粉づくりもお願いしています。以前は餅づくりの繁忙期には人手が足りず、同時期に必要なきな粉の製造をストップせざるをえない状況でしたが、現在は同時生産が可能となつて、たいへん助かっています。繁忙期のみ季節雇用のような就業形態も可能なシルバー派遣事業ならではのメリットを実感します」

餅づくりの生産工程はすべて機械化され省力化が進んだものの、工程間のつなぎや移動のほか、最後の成形、押し具合には人

の手が不可欠と福田さん。「やはり人の手のかかったものが違います。おいしいそれが手作りの良さであり、機械任せにはできない部分でもありませんから」

食品製造ゆへの徹底した衛生管理、品質管理などに最大限留意するのはもちろんのこと、その上に手作りの思いを加えた商品



JALしまね雲南地区本部 総務課の細木聖司さん

## 会員インタビュー



雲南市シルバー人材センター会員 陶山 正さん(64歳)

以前は金融機関に勤めていました。退職と同時にシルバー人材センターに登録し、そこで紹介されたのが奥出雲町にある仁多加工所での餅づくりの仕事です。今年で5年目になります。最初は話をいただいたときは、はたして自分に務まるのか、全くの畑違いの仕事ということもあって不安だらけでした。9月に勉強会があり、衛生管理の手順などを学び働き始めましたが、やはり最初の頃は慣れない仕事で筋肉痛になったり苦勞もありました。ひととおり様々な工程を経験し、その中で今は主に成型の工程で働いています。



JALしまね 雲南地区本部  
島根県雲南市木次町里方1088-6  
(TEL.0854-42-9000)

づくりに、シルバー会員の手が活かされている仕事の現場でした。

大量の餅がすべて商品となって全国の方に食べていただけたという作り手としてのうれしさはもちろんです。普段では知り合えることもない他の地域の人も仲間になれて話がはずむ楽しさもあり、この仕事をして良かったと思つています。今では何の不安もありません。仕事もフルタイムではなく、月に10日の勤務というのもちょうど自分にはいいかなと思つています。空いた日には



自分の時間が持て余裕をもった生活ができます。定年後からはじめた絵手紙などの趣味の時間も自分にとって大切な時間となっています。



仁多加工所

## 臨・短、軽で、学ぶ！ 働く♪輝く♪ Rin♪ Tan♪ Kei♪

シルバー人材センターでの就業範囲は、「臨時的かつ短期的、または軽易な業務」の範囲と定められています。「パートよりも軽易に働きたい!」、「短期アルバイトのようにフリーな時間を活かしたい!」方などにお勧めの働き方です。

シルバー人材センターで働く高齢者の日数、時間の上限	
日数の上限	おおむね月10日程度以内
時間の上限	おおむね週20時間をこえないことを目安



1日8時間  
週2回

1日4時間  
週4日

1日3時間  
週5日